

学生各位

北大元気プロジェクト2015（第1回目）の採択について

このことについて、以下のとおり採択しましたので、お知らせします。

No.	プロジェクトの名称	目的	代表者氏名
1	eDNA 解析による生物生息状況の調査【新規】	eDNA 検出により、北海道内の水圏生体に関して生体状況の評価を行う。この結果を論文投稿、博物館展示等教育プログラム等で情報発信や子ども達に伝えることにより地域貢献を目的とする。	水産学部3年 細木 拓也
2	北海道ビジネスコレクション【新規】	5～8 組の学生チームを集め、収益化も含めたビジネスプランを発表してもらい、ベンチャーキャピタルや起業家に審査を依頼する。新しいアイデアが生まれて実現化し、北大発の様々な事業が生まれることを目的とする。	経済学部4年 岡 亮輔
3	アイカップ自然史博物館での企画展の開催	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所に隣接するアイカップ自然史博物館において、国際交流と地域貢献を2つの柱とする企画展を開催し博物館の有効利用の可能性を検証することを目的とする。	環境科学院2年 楠崎 真央
4	北海道大学アルコール問題対策委員会	飲酒問題撲滅活動を北大にも取り入れ、ゆくゆくは日本に定着できるよう尽力し、大学生に起きてる飲酒問題を大学生自身で解決していく先駆けにすることを目的とする。	医学部5年 新藤 利一
5	北大カフェプロジェクト	「人と人を繋ぐこと」を目的とし、北大構内および札幌市都市部を中心に、コミュニケーションスペースとしてのカフェを、設置場所をイベントごとに変えながら展開する。他団体と共に北海道大学を盛り上げたり親しみを持ってもらえるような機会を提供する。	医学部2年 菊池 祐里子
6	CLARK THEATER 2015	①映像教育・映像産業への寄与②学生のキャリア形成③大学と地域のコミュ目的とする。特に①に焦点をあて、市民・学生の方に映像自体の学び、映像を通じた学びを経験してもらうことを目的とする。	教育学部2年 曾束 芽吹
7	北大生の「国際生体分子デザインコンペティション(BIOMOD)」への参加を通じたグローバルリーダーの養成	1)研究プロジェクトのマネジメントを含め、実戦から情報発信まで個人・チームとして活躍できる人材の育成と創出を目指す。さらに、BIOMODの大会で要求される英語でのプレゼンテーションを通して、2)学術英語の聞き取りおよび発話技術を習得する。3)学部生のうちから国際感覚を身に付けることを目的とする。これらの過程を通し将来の国際的リーダーの養成を目指す。	農学部2年 西井 建人
8	Wheelmap Project	ナビゲーションアプリ「Wheelmap」を活用しデータの拡充と普及促進を行う。大学構内や札幌のデータ拡充、さらに大学職員等の連携、イベントや他分野の連携をすることで車イスユーザーがより快適な生活を送るための環境づくりを目的とする。	法学部3年 木明 翔太郎
9	北大生による「生物ロボットコンテスト」への参加	世界各国の大学生チームが、規格化された遺伝子パーツを組み合わせて作成した、遺伝子組み換え生物の性能と有用性を競い合う「生物ロボットコンテスト」(iGEM)に参加することで、研究活動をするうえで必要な実験技術やマネジメント法、国際交流を通じた英語によるグローバルな発表方法を学部生という早期段階で習得することを目的とする。	理学部3年 桜井 珠真呂
10	第4回僕らの歩行祭～夜のピクニック～	①80km という長い道のりを歩き切ることで、仲間と協力して一つの山を乗り越えた先にある達成感を得てもらい、それを糧に何事にも挑戦していく活力を持ってもらうこと②普段当たり前に行っている“歩く”ことの楽しさやすばらしさを感じてもらおうこと③地域という視点を加え、地域に根付く魅力的なイベントにすることを目的とする。	工学部3年 新谷 研人